

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の会議で理念を唱和し意思の統一を行っている。また、困った時にいつでも振り返ることが出来るように施設内の5ヶ所に掲示している。理念に沿った個人目標を設定し実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のボランティアや利用者のお友達が気軽に立ち寄れる親しみやすい施設であるように努力している。現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、おこなうことが出来ていない。	これまでの運営推進会議に参加してきたのでコロナ禍以前のボランティアの受け入れ状況は把握しています。新型コロナウイルス感染症対策でボランティアや実習の受け入れが中々難しいのは致し方ないと思う。利用者の方を守ることが必要な反面地域との付き合いが少なくなってしまうのが現実と考えています。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防の為、対面と書面開催をしていた。今年度は、リモート開催を取り入れ、サービスの向上につなげていきたい。	以前の運営推進会議に参加されている委員の方に地域の消防団の団員の方を紹介してもらって避難訓練に参加してもらったのは良いと思います。運営推進会議が書面で開催された時にフィードバック用紙があり意見の吸い上げができる取り組みが良いと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分からないことがあった時には、日頃から担当部署に伺うなどして、連携を図っている。	保険者や地域包括支援センターに確認することはとても大事です。記録に残して社内で共有すると同じ内容のことを聞くことが無くなるので記録の作成の助言を頂く。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束をせずにケアを行う為の基本的な考え方、身体拘束廃止マニュアルを基に外部内部研修で確認し理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡協議会が開催している「身体拘束適正化へ取り組み」、「虐待の防止のための取り組み」の研修に職員が参加し学び内部研修として年に数回行っている。研修を重ねることで、理解を深めていきたいと思っています。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成いつでも閲覧できるようにしている。ケア振り返りシートを使用し定期的に、職員のケアの振り返りを行うことで日頃の係わり方の振り返りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1月に高齢者虐待防止マニュアルの改正、虐待防止のための指針の整備を行いました。内部研修に高齢者虐待防止研修を行い、意識づけすることで不適切なケアとはどのようなケアがあるのかを学び、振り返りシートを用いて日頃のケアに不適切なケアがないか振り返りケアの向上に取り組んでいます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に学びの機会を設けている。過去に成年後見制度をご利用されている方がいたので、その都度学びの機会があった。今後も積極的に学びの機会を増やしていきたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所を希望された方やご家族に施設の特徴や運営方針について説明を行い、納得して頂いた上でご入所して頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、家族会の開催が出来ない状態である。ベランダ面会時や電話などを使用し職員とご家族が話があった際にはお伺いしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ベランダ面会では、利用者の方と家族の方の距離を2.26mの間隔を開けることができる為、ソーシャルディスタンスを保つことができている。また互いにマスクを着用して頂いている。ガラス越しではなく直接顔を見て話しができるのが良いと評価を頂いた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議を開催した時には、必ず運営者が参加し職員の意見や提案を受け止めた上で、その時の状態に合わせて反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の積極性と実績に合わせて一時金を支給している。できる限り、やりがいと責任感が持てるように職場の環境作りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員処遇改善加算、特定処遇改善加算を12月、3月、5月に資格取得、勤務意欲、実績を踏まえ一時金として支給している。人事考課が職員の意欲の向上、やりがいにつながっている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、施設内研修をリモートを使用し積極的に行っている。OJTを活用しながら、職員同士で意見交換が出来るように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前に行っていた、介護支援専門員や介護福祉士などの受験対策の勉強会も今後リモートを利用し開催しながら学べる機会を増やしていきたい。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、積極的にネットワーク作りは出来ていないが、電話などで同業種・他職種の方々と連携を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の今現在出来ることを大切にしながら、お手伝いなど積極的にお願いをしている。職員を助けて頂いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、ベランダ面会を行っている。電話での取次ぎも積極的にしている。ご家族やご友人との関係性が継続できるように努めている。	時間の制限などはしていないが、面会の機会が減っている。現在の状態では仕方ないことだと思う。ベランダ面会は、いい考えであると思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族やご本人より会話や生活の中で1人ひとりのニーズを拾い上げられるようにしている。利用者の日頃の言動や行動を注視し利用者の思いや表情を組み取り、本人本位のケアができる様に支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人ひとり担当職員を持ち、担当者が評価しケア担当者会議で意見を出し合い計画作成担当者が再評価している。ご家族・主治医、訪問看護などと連携を図り意見を取り入れた介護計画を作成している。	本人ご家族の意向は、言葉をそのまま拾い上げられていると思います。男性利用者の方にホーム内のイベントの際に利用者代表として挨拶をすることをサービス内容に上げるなどケアプランが、1人1人の利用者に合わせて作成されていると思います。	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮崎市が推奨しているセンター方式の24時間シートを参考に施設独自の記録用紙を作成し本人の日頃の様子が解りやすくしている。介護を行う上で、本人の気持ちをグラフで表している為、時間帯が特定できている為、職員のアプローチの仕方をケア担当者会議などで話し合いを行い介護計画作成に役立てている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設独自の記録用紙を作成し(看護・介護経過記録)、医療面・介護面・認知症面を含めて解りやすいように用紙を作成し日頃の様子を全職員で情報の共有を行っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録の中に、本人の言葉などを職員が拾い上げ記載することで、できる限り本人の気持ちに寄り添えるように努めている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている <u>C. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	例年では、傾聴ボランティアや介護実習生の受け入れを行いホームに外部との関わりを取り入れ地域の人と関わったりコミュニケーションを図ったりしている。	現状、コロナ禍の為積極的な動きが出来ていない。通年であれば、認知症の相談窓口など積極的に施設内を見ながらお話していたが現状出来ていない。今後、コロナの状況に合わせて積極的に動いていきたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <u>C. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	入所希望の方は基より、認知症介護で質問のある方についても話をしている。新型コロナウイルス感染症が終息した際には積極的に地域と関係性を再構築していきたい。	コロナ禍になるまでは、地域の消防団の方と一緒に避難訓練に参加して頂いたり、施設周辺の方々や挨拶など積極的にしていた。コロナが終息したら、地域の方々との以前のような協力関係を作ってほしい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族の希望する医療機関の受診が継続できるように柔軟に対応している。往診のご希望の方には、往診されている Dr をご紹介している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際には、必ず現在の状況が解るように医療機関の方と常に情報の共有を行っている。ご家族の希望と意向を確認した上で、退院後の支援をしている。		<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナ禍の為今は出来ていないが、以前はご退院された利用者の方の持っている施設の新聞等を作成し生活状況の報告などを踏まえて、施設の説明を行っていた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合には、その時の状態に合わせたネクストステージを踏まえた上で適切な治療もしくは療養が受けられる環境をご家族と話し合いながら支援している。		<u>A. 十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設は、基本的に看取り介護をおこなわない施設であることをご家族に十分に説明した上で、ご入所して頂いている。本人の状態に合わせて、病院・特別養護老人ホーム・有料老人ホームなどをお勧めしている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に緊急時対応法の勉強会を行っている。マニュアルを作成いつでも閲覧できるようにしている。日頃のケアの中で、医療職・ご家族・管理責任者との連絡法や対応法を学んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている <u>C. あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、災害時避難訓練など現在実施できていない。新型コロナウイルス	現在勤務している施設では、定期的に施設職員だけで小規模な避難訓練を行っています。現在、コロナ禍の為、施設内	A. 十分にできている <u>B. ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後、新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら避難訓練を考えていきたいと思う。今回、ご助言をいただいたコロナ禍でも施設ができる範囲での避難訓練

					識するのではなく、本人が取り組もうとする姿勢を大切にしながら行っています。私達介護者は、本人ができなくなったことに視点がいきがちですが、本人のやる気や気持ちに焦点を当てているのが良い取り組みだと思いました。今後も継続してほしいと思います。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症予防の為、外出を控えている。今後、コロナ禍が終結した段階で、以前のような外出支援を行ってきたい。コロナ禍前は、日常でご家族と外食・外泊などご家族と協力しながら楽し時間が過ごせるように支援していた。	新型コロナウイルス感染症対策の中、悩ましい所です。コロナ感染前は、外泊や外出に対する制限はなかったのですが、現在はご家族の方にご理解いただきながら、病院受診以外の外出については控えて頂くようお願いしています。どこも一緒に外出・外泊がなかなかできない現状があります。丁寧に説明しご家族に理解を頂きながら、施設での感染がないよう今後も管理をしていってほしいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次ぎなど積極的に行っている。時効の挨拶や手紙は、職員と一緒にすることで、やり取りなど出来ている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天窗から自然で柔らかい光が入るようにしている。湿度や温度を職員が把握し、必要に応じエアコンの調整、空気の入替えなどを行っている。季節を感じて頂けるように、花壇の植栽や施設内の飾りつけなどをして頂いている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症があるので喚起を行っています。今の季節は快適ですが、今後は冬で寒くなってくるので、室内温度・湿度に十分配慮しながら行ってきたいと思っています。以前施設を見学させて頂いた時に、トイレがすごく配慮されていて、個々人の残存機能を活かせるように工夫されたトイレだったので素晴らしいなと思いました。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本本人の意志に沿った暮らしが出来る。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、職員が利用者との会話の内容や出来事などを記録にとり、職員で定期的に話し合い情報の共有を行っている。そして、介護計画に反映できるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人1人の状態に合わせて介入・支援を行っている。わかること・わからないこと、出来ること・できない事を見極めながら介入している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	具体的な例で、食事に関してご説明すると、セッティングのみの方、お箸を持ってもらう事がきっかけで自立されている方、一口目を介入することで自食される方、途中まで自食されてその後介助で食べられる方、全介助で食べられる方など本人の状態に合わせて介入させて頂いています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人1人リビングやフロア一、居室などに行かれ時間を過ごされている。食事やレクリエーションなどの時には、職員がお声掛けをし皆さん自分の居場所を見つけられている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	料理が好きな利用者の方は、料理の本や気になった料理のレシピをメモした手帳を持たれている。昔から使われているなじみの腕時計を使用し時間の確認などされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お布団、お茶碗、衣類など、本人のなじみの物を持ってきて頂きたいということをご家族にお話しているのですが、皆さんお家にある物ではなくて新しい物をご準備される方が多いです。なので、ご家族と一緒に撮られた写真などを持ってきて頂いたりもしています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外の外出はできていない。新型コロナウイルス感染症が収束した時には、以前のような外出支援を積極的に行っていきたい。	現在の状況を考えると致し方ないのかなと思います。コロナ過の中で、利用者の方の楽しみごとと健康や安全のバランスを考えた時に、健康・安全が優先されるのは当然のことかと思えます。そんな中、季節を感じる行事について施設内で行えているので、できているでも良いのではないかと考えます。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の気分の良いときには、若い頃の記憶になっていることが多いため、その時その時の本人の活躍されていた頃の気持ちに合わせて話し掛けを行ったり、家事など本人が現在出来ることを見極めながら、職員と一緒にお手伝いなどをお願いしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の中には、お魚のピロシキの話をする方や長男さんの話をすると笑顔になれる方もいます。息子さんに思い入れが強い方のケアプランには、息子さんの話をして笑顔になって頂くといった支援を入れたりしています。ご利用の方がいきいきと笑顔になれるようにといったことを考えながら支援させて頂いております。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策の為、近隣や地域の方々との関わりが現在できていないが、ご家族とはベランダ面会を行っている。	コロナの関係もあり、地域との交流は難しいと思います。そんな中、ベランダ面会でご家族との交流を継続されているので、頑張られていると思います。また、コロナ過になり、地域の中であえて接触を行わないことが大切とされる事もあったのではないかと感じます。今後緩和されていく中で、地域の方とのお付き合いも考えていけたら良いのかと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、利用者の皆さんグループホームでの生活も慣れられ、利用者同士の関係性も良好である。	今までの評価でお話頂いた内容で、理念に沿って支援されているのが良く伝わってきます。食事の場面一つとっても本人に合わせた自立支援をされていることが伝わってきます。本当によく介護されているんじゃないかと感じます。今後も頑張ってもらいたいです。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体的な話になりますが、運営理念の中で、和やかに笑顔のある介護、家庭的な生活を維持する介護、安心・安全の生活ができる介護などを掲げています。この理念のもと、職員一丸となって、利用者の皆さんが笑顔でより良い生活が送れるよう頑張っているところです。